

(3) 三陸創造プロジェクトの概要

三陸地域の復旧、復興はもとより、長期的な視点に立ち、復興を象徴し、世界に誇る新しい三陸地域の創造を目指すという観点から、これを体現するリーディング・プロジェクトとして実施するもの。

三陸創造プロジェクトの特徴

【横断性】 【創造性】 【独自性】 【長期性】 【多様な主体との連携】

① 科学技術分野「国際研究交流拠点形成」プロジェクト

② 環境共生・自然エネルギー分野「さんりくエコタウン形成」プロジェクト

津波災害の次世代への継承「東日本大震災津波伝承まちづくり」プロジェクト

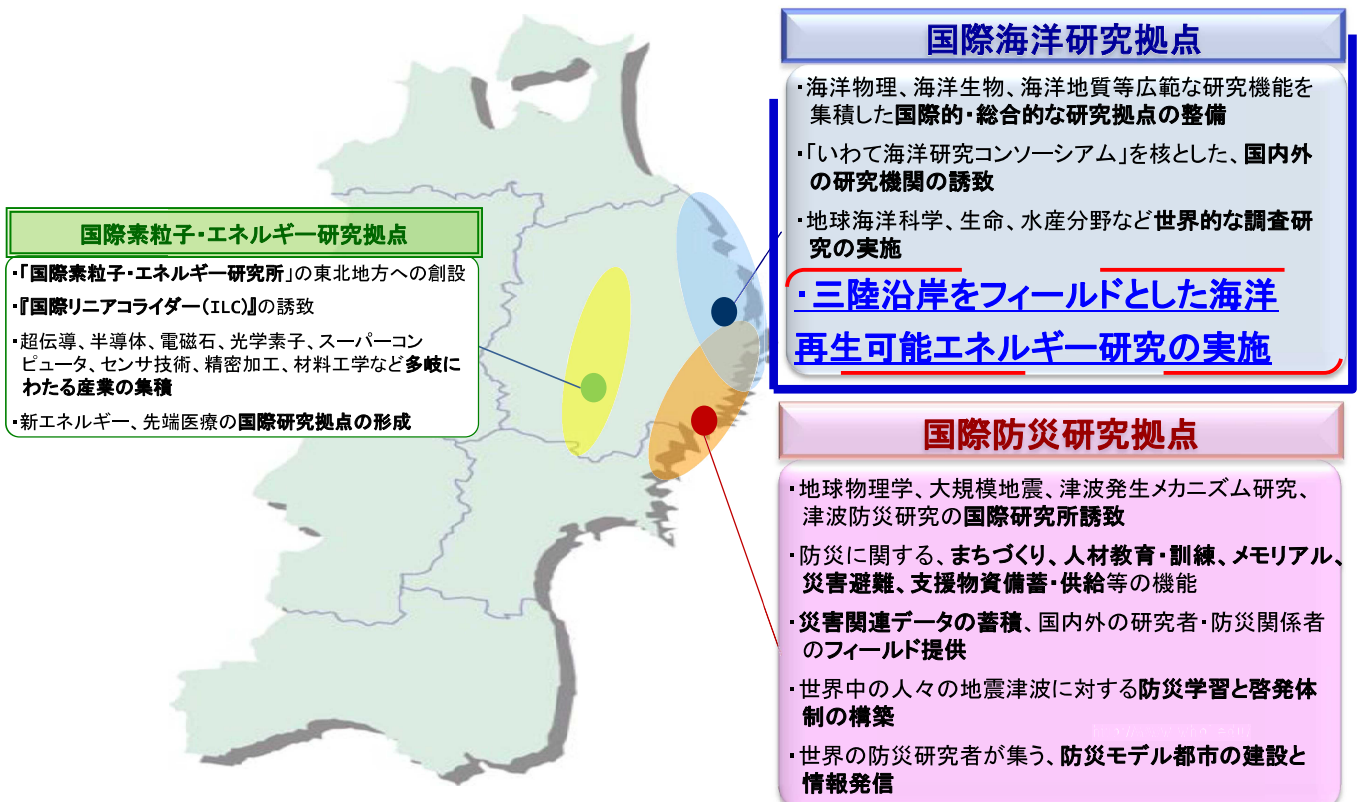
産業振興分野「さんりく産業振興」プロジェクト

新たな交流による地域づくり「新たな交流による地域づくり」プロジェクト

9

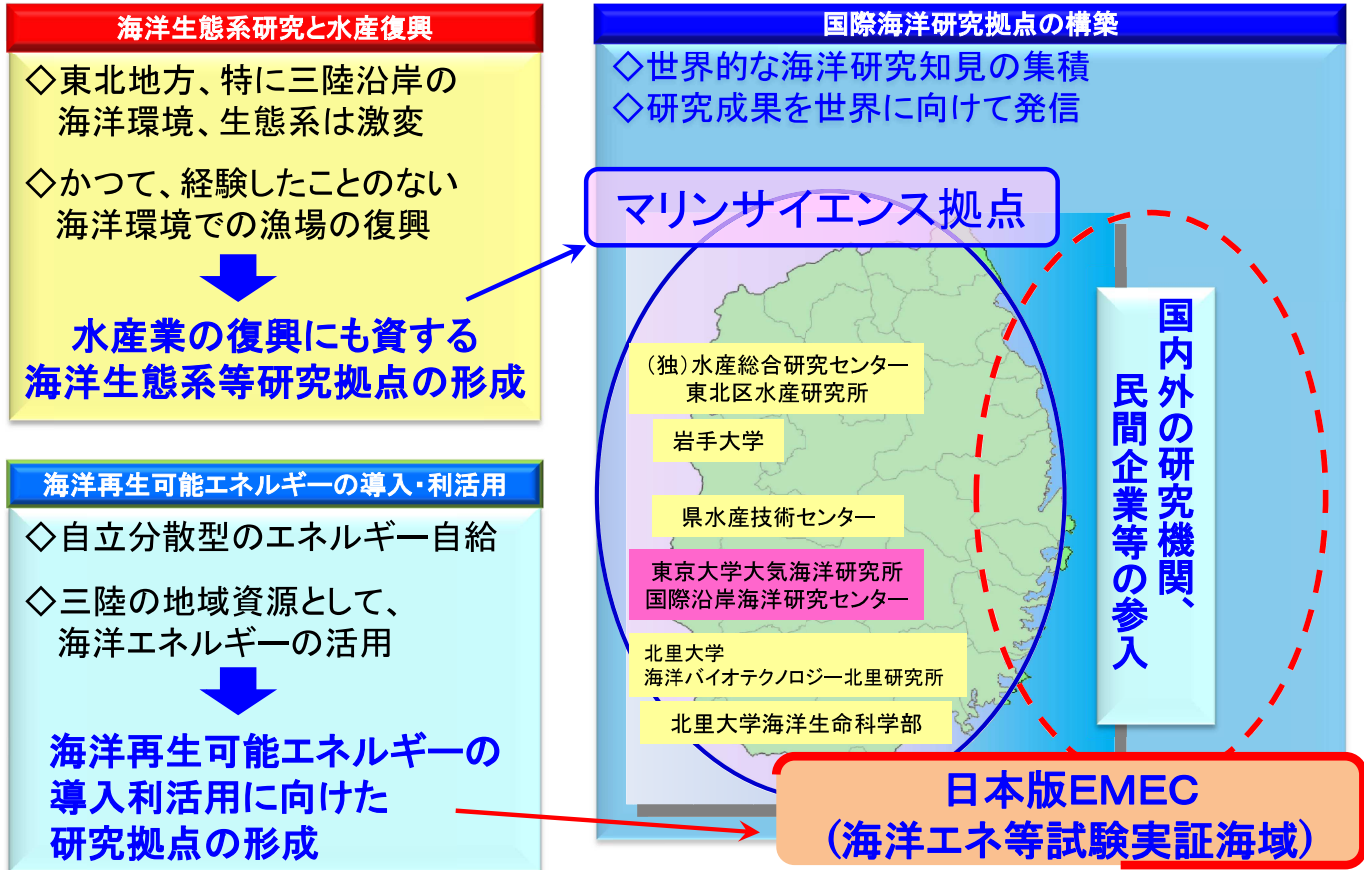
① 国際研究交流拠点形成プロジェクト

～三陸から世界をリードする国際研究交流拠点の形成～



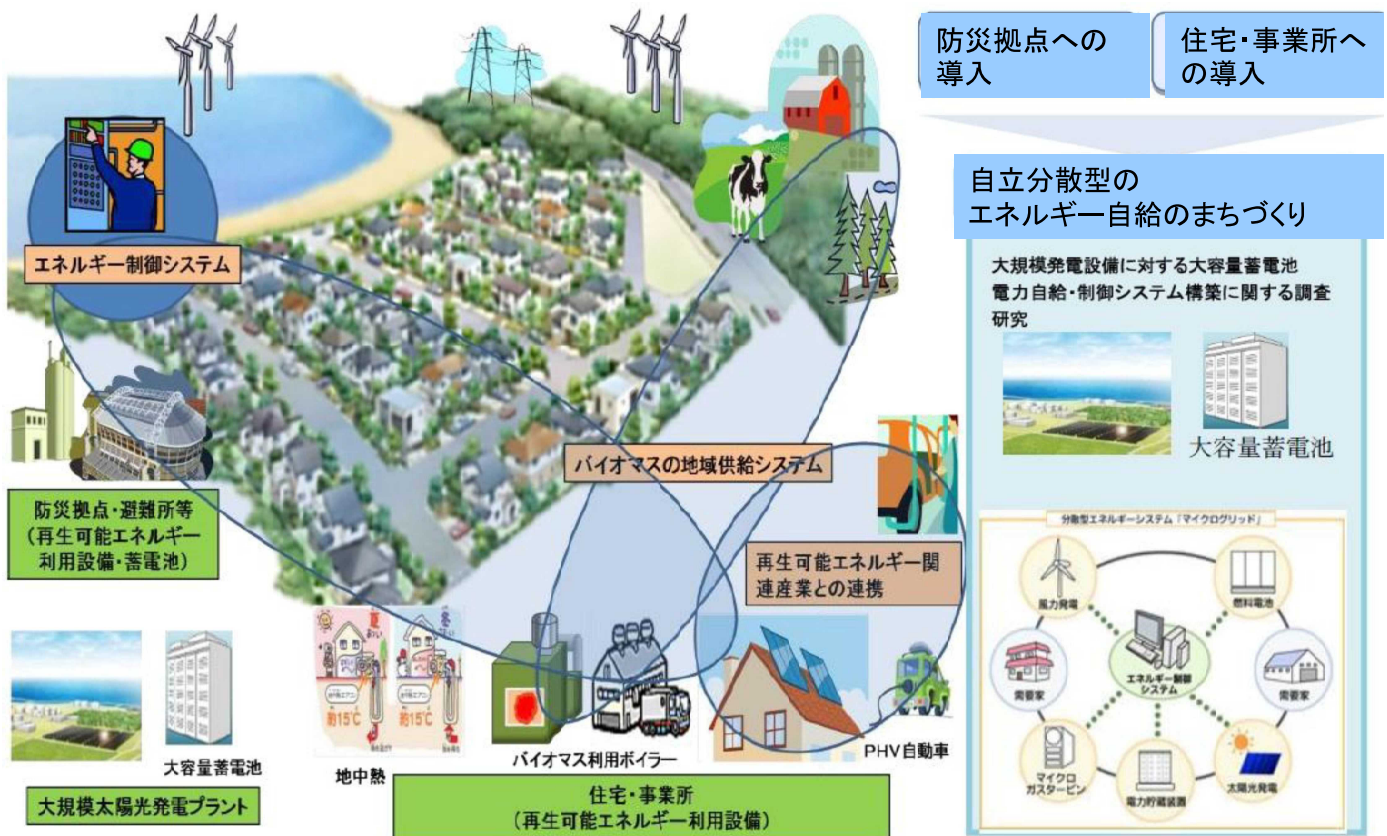
10

国際海洋研究拠点構想



11

② 三陸エコタウン形成プロジェクト



12

(参考) 海洋資源の利活用に向けて

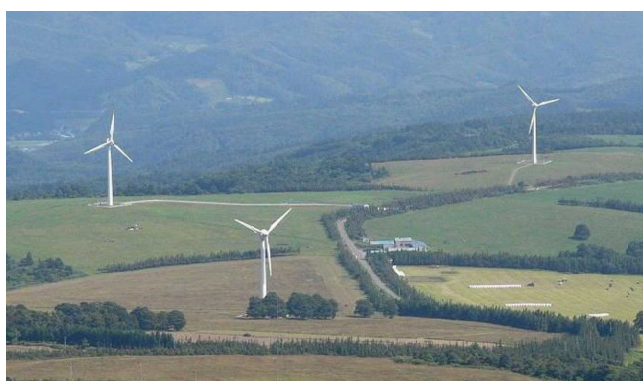
「岩手県三陸海域における海洋資源の利活用に関する調査報告書」より
(いわて海洋資源活用研究会、平成22年3月)

想定される海洋資源	可能性	理由
1 海底資源		
(1)メタンハイドレート	△	今後の調査に期待
(2)海底熱水鉱床(銅、亜鉛他)、マンガン、コバルト	×	存在しない、または、遠い
(3)石油・天然ガス	○～△	存在が確認されている
2 海水資源		
(1)リチウム・マグネシウム等	△	今後の研究開発に期待
(2)海洋深層水	○	実用化
3 海洋エネルギー		
(1)波力	△	今後の技術開発に期待
(2)風力	○～△	県北沿岸での更なる調査に期待
(3)潮汐	△	今後の技術開発に期待
(4)潮流	△	今後の技術開発に期待
(5)海洋温度差	△	今後の研究開発に期待
4 海洋生物・水産資源、海洋調査研究	○	

13

II 海洋再生可能エネルギーの導入・利活用

1. 再生可能エネルギー導入(陸上)の取組状況



県営 稲庭高原風力発電所(二戸市、平成13年9月完成)

(1) 導入目標

◎再生可能エネルギーの種類別の導入目標

エネルギー種別		平成22年度末		目標値(平成32年度末)		
		導入量	原油換算	導入量	原油換算	増減率
電力利用	太陽光発電	34,740kW	9千kl	139,630kW	38千kl	302%
	風力発電	67,099kW	39千kl	575,099kW	324千kl	757%
	水力発電	274,576kW	278千kl	276,406kW	280千kl	1%
	地熱発電	103,500kW	198千kl	163,500kW	313千kl	58%
	バイオマス発電	1,724kW	3千kl	2,324kW	4千kl	35%
	小計	481,639kW	527千kl	1,156,959kW	959千kl	82%
熱利用		23,426kl	23千kl	27,642kl	28千kl	18%
合計		—	550千kl	—	987千kl	79%

再生可能エネルギーの導入による二酸化炭素排出削減量

562千t-CO₂

出典:岩手県「岩手県地球温暖化対策実行計画」

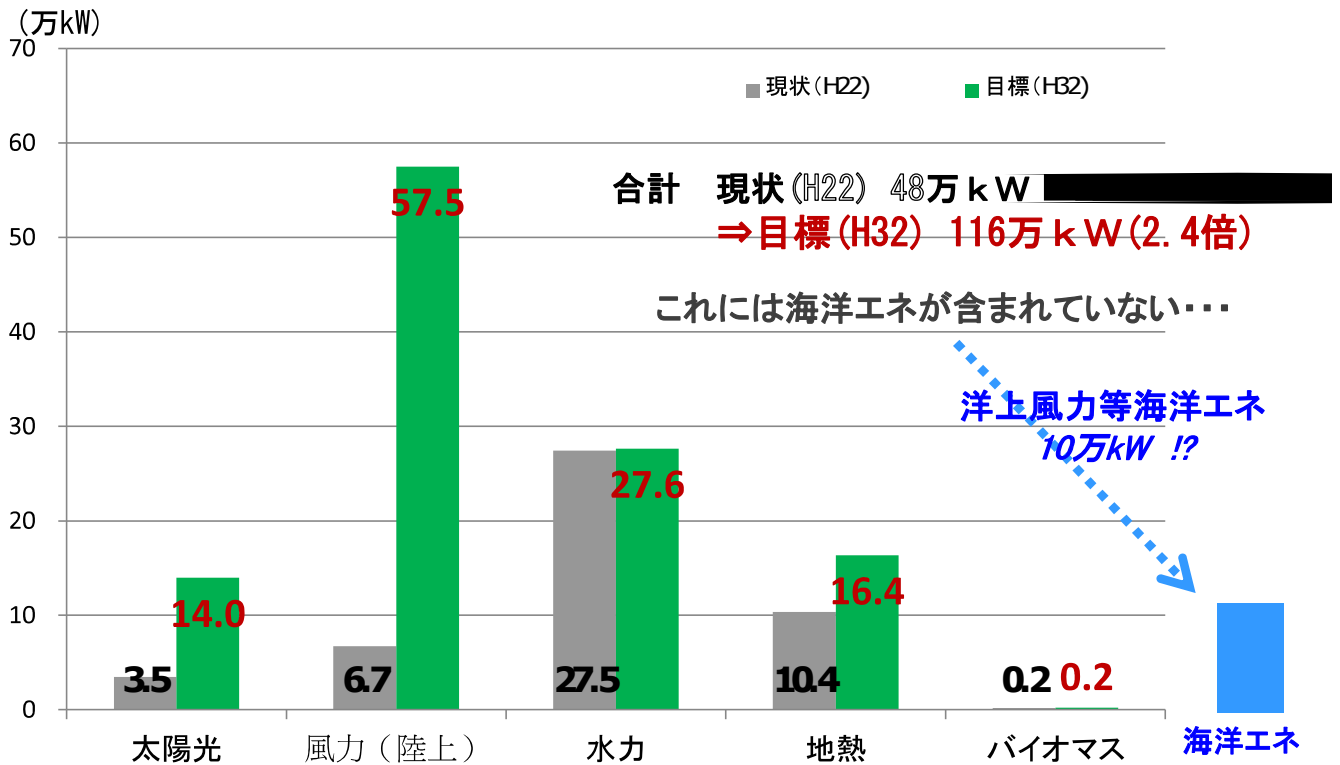
15

(2) 導入の動向

	場所	規模	備考
メガソーラー	洋野町	10MW	2013年運転開始予定、北東北最大
	一関市	8MW	2013年運転開始予定
	久慈市	1.4MW	2013年運転開始予定
	滝沢村	1.5MW	2013年運転開始予定
	北上市	5.5MW	2013年運転開始予定
大規模風力	一関市	40MW	2017年運転開始予定
	一戸町	25MW	2017年運転開始予定(県企業局)
地熱	八幡平市	7MW	2015年運転開始予定
小水力	奥州市		2力所(県企業局)
			農業用水利施設での可能性調査中
			下水道の放流水を活用
住宅用太陽光発電	県内	8MW	H23年度 1,877件 出典:太陽光発電協会

16 65

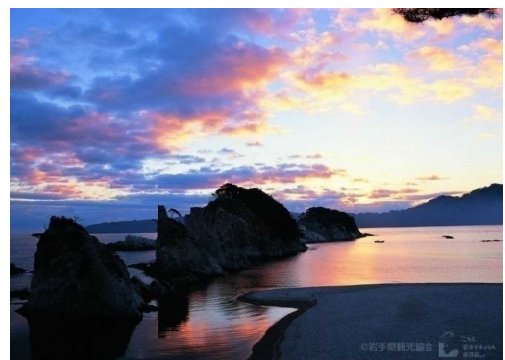
岩手県の再生可能エネルギー導入目標 (岩手県地球温暖化対策実行計画)



17

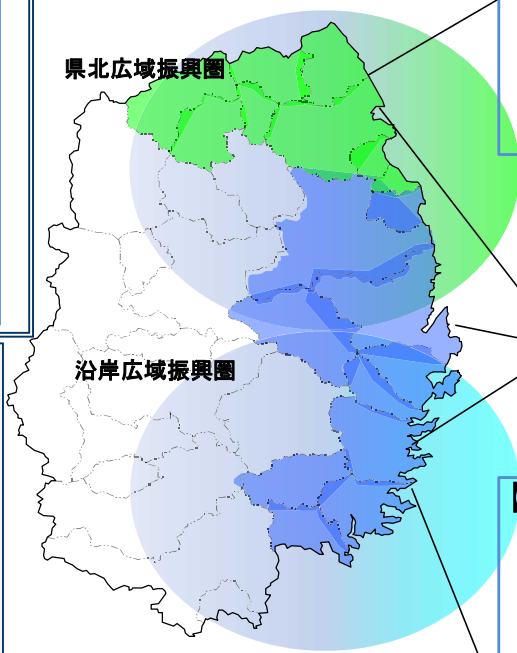
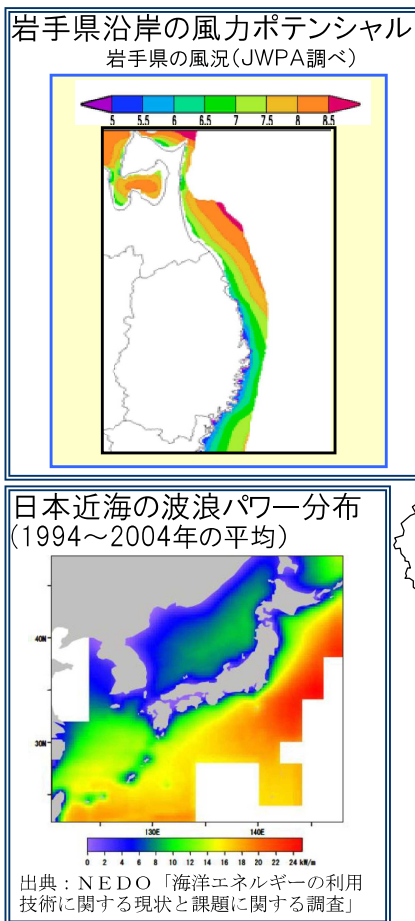
II 海洋再生可能エネルギーの導入・利活用

2. 海洋再生可能エネルギーの 導入・利活用構想



宮古市 浄土ヶ浜

(1) 海洋再生可能エネルギーの導入・利活用構想



【風力 ポテンシャルを活用】

着床式洋上風力発電

【波力 ポテンシャルを活用】

波力発電

【多様な海底地形や海象を利用】

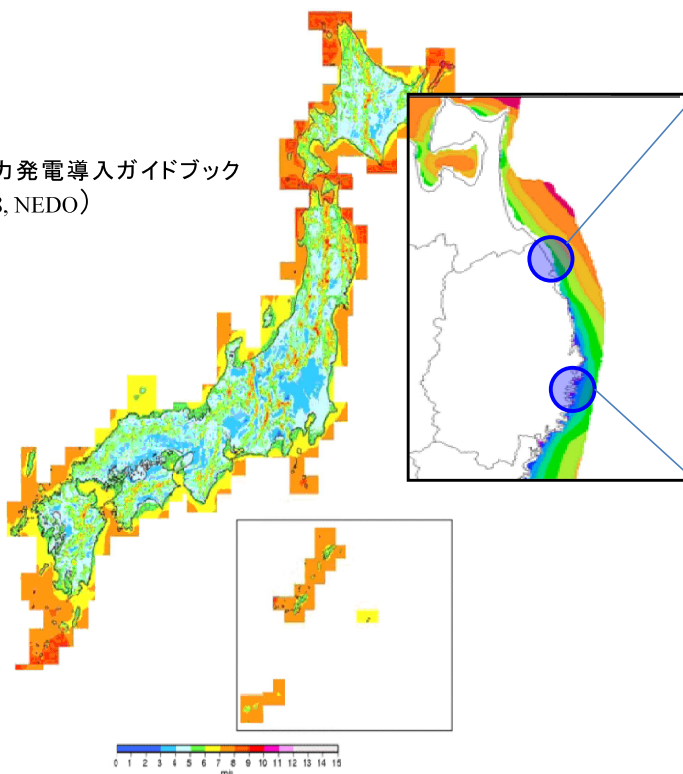
浮体式 洋上風力発電

19

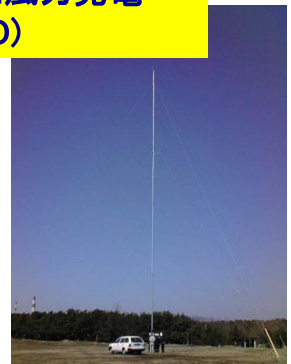
(2) 洋上風力発電について

事業化可能性調査(FS)の誘致
気象(風況)、海象、社会条件等の調査分析による事業採算性や課題の明確化

出典：「風力発電導入ガイドブック 2008」(2008, NEDO)



東北沿岸沖合海域
着床式洋上風力発電
(H23, NEDO)



風況観測タワー
(地上高50mの風を観測)

釜石沖合
浮体式洋上風力発電
(H23, 環境省)